



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
コード番号 6418 URL <https://www.jcm-hq.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6643-8400
経営企画本部長
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月9日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	37,815	19.6	4,910	73.0	4,676	31.1	3,810	16.1
2024年3月期	31,610	25.1	2,839	356.0	3,568	181.5	3,281	4.3

（注）包括利益 2025年3月期 5,851百万円（51.8％） 2024年3月期 3,855百万円（△16.6％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	140.98	—	12.6	9.6	13.0
2024年3月期	112.59	—	11.8	8.2	9.0

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 △10百万円 2024年3月期 △275百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	49,385	32,031	64.9	1,189.39
2024年3月期	47,698	28,655	60.1	1,018.44

（参考）自己資本 2025年3月期 32,031百万円 2024年3月期 28,655百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	7,637	△390	△2,789	17,457
2024年3月期	△4,925	△402	4,116	12,522

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	7.00	—	19.00	26.00	740	23.1	2.7
2025年3月期	—	14.00	—	36.00	50.00	1,346	35.3	4.5
2026年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		33.7	

（注）期末配当金の内訳 普通配当26円00銭 記念配当10円00銭（創業70周年記念配当）

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,300	△28.0	800	△78.7	500	△83.3	2,800	12.4	103.97
通期	31,000	△18.0	1,400	△71.5	1,000	△78.6	3,200	△16.0	118.82

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、決算短信（添付資料）14ページ「（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	29,672,651株	2024年3月期	29,672,651株
2025年3月期	2,741,926株	2024年3月期	1,535,927株
2025年3月期	27,028,818株	2024年3月期	29,149,252株

（参考）個別業績の概要

2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	16,420	46.0	991	20.2	2,939	28.4	2,644	△16.3
2024年3月期	11,248	77.6	824	—	2,289	348.1	3,157	73.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	97.83	—
2024年3月期	108.33	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年3月期	31,549		17,886		56.7	664.16
2024年3月期	31,798		17,734		55.8	630.30

（参考）自己資本 2025年3月期 17,886百万円 2024年3月期 17,734百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 6「（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更に関する注記)	14
(連結損益計算書に関する注記)	14
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報の注記)	18
(重要な後発事象の注記)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、長期化する地政学リスク、原材料価格の高騰をはじめとする物価上昇に加え、各国の金融政策による不安定な為替変動の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるゲーミング市場においては、世界的な観光需要の増加に伴い、当社の主要顧客であるカジノホテル等のゲーミングエリアへの設備投資意欲は引き続き高い水準で推移いたしました。また、海外コマーシャル市場では、当第4四半期を中心に欧州地域での景況感の軟化を受け、同地域の顧客に在庫調整の動きが見られたものの、世界各地におけるセルフレジ精算機の普及拡大に伴う需要は堅調でありました。国内コマーシャル及び遊技場向機器の各市場では、前期後半から継続する新紙幣への改刷に伴う設備更新需要に加えて、流通や交通市場を中心に訪日観光客の増加に応じた貨幣処理機器に対する設備投資意欲も堅調に推移いたしました。

このような状況の下、ゲーミング市場においては、顧客のニーズに沿ったシステム製品や現金処理プロセスの自動化、省力化に資する高付加価値製品等の新製品の販売促進活動に加えて、旧モデルの紙幣識別機ユニットから最新の現行ユニットへの入替提案活動を積極的に実施いたしました。

海外コマーシャル市場では、欧州及びアジア地域における当社製品の更なる市場シェアの拡大に向けた各種販売施策の推進に努めるとともに、北中南米地域においては、引き続き市場開拓に向けて各地域のニーズに応じた新製品開発や多角的な提案活動、販路拡大に向けた代理店の拡充による販売体制の構築を図りました。また、国内の各市場においては、新紙幣への改刷に伴う貨幣処理機器の更新需要に留まらず、新紙幣への改刷を絶好の機会と捉え、需要拡大を目指した積極的な提案活動に一層注力いたしました。

さらに、生産面では、海外生産拠点の移管を中国からフィリピンへ概ね完了させたことで効率的な生産体制の整備を図るとともに、市場の需要変動に応じた機動的な生産体制の構築を実現させるなど、製品の安定供給体制の更なる強化と製品在庫の適正化を図り、安定した収益基盤の強化に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、37,815百万円（前連結会計年度比19.6%増）となりました。利益面では、主に新紙幣への改刷対応を中心に、収益性の高い製品の販売が増加したことなどにより、営業利益は4,910百万円（前連結会計年度比73.0%増）、経常利益は4,676百万円（前連結会計年度比31.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,810百万円（前連結会計年度比16.1%増）となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは、米ドル152.28円（前連結会計年度141.20円）、ユーロは164.45円（前連結会計年度153.20円）で推移いたしました。また、決算期末の時価評価に適用する期末日為替レートは、米ドル149.53円（前連結会計年度末151.42円）でありました。

セグメント別の売上高の状況については、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

		前連結会計年度 (2024年3月期)	当連結会計年度 (2025年3月期)	増 減	
				金 額	率(%)
グローバル ゲーミング	売 上 高	17,279	21,477	4,198	24.3
	セグメント利益	2,794	4,368	1,573	56.3
海 外 コマーシャル	売 上 高	5,915	5,707	△ 208	△ 3.5
	セグメント損失(△)	△ 175	△ 566	△ 390	—
国 内 コマーシャル	売 上 高	2,692	3,805	1,113	41.4
	セグメント利益	523	1,147	623	119.1
遊技場向機器	売 上 高	5,723	6,824	1,101	19.2
	セグメント利益	1,001	1,437	435	43.4
調 整 額	売 上 高	—	—	—	—
	セグメント損失(△)	△ 1,305	△ 1,475	△ 169	—
合 計	売 上 高	31,610	37,815	6,205	19.6
	営業利益	2,839	4,910	2,071	73.0

(注) 調整額にはセグメント間の内部売上高に係る消去額及び報告セグメントに直接賦課できない費用等が含まれております。

〈グローバルゲーミング〉

前期前半に顕著に見られた当社製品の供給不足が、当期は概ね解消したことに伴う販売増加に加え、特に北米地域においては旧モデル製品からの積極的な入替促進活動等により、ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットの販売が増加したことなどから、セグメント売上高は21,477百万円（前連結会計年度比24.3%増）、セグメント利益は4,368百万円（前連結会計年度比56.3%増）となりました。

〈海外コマーシャル〉

欧州地域でのセルフレジ精算機や鉄道券売機向けの紙幣還流ユニットの販売が、当期後半の景況感の後退局面において顧客の在庫調整により減少した他、北中南米地域における新規案件の販売実績の獲得に当初想定より時間を要している状況であることなどから、セグメント売上高は5,707百万円（前連結会計年度比3.5%減）となりました。利益面においては、北中南米地域の新市場開拓に向けた新製品の研究開発等の先行投資に注力したことから、セグメント損失は566百万円（前連結会計年度は175百万円の損失）となりました。

〈国内コマーシャル〉

新紙幣への改刷対応に伴う更新需要が増加したことに加えて、訪日外国人観光客の増加に伴い流通・交通市場において、主に飲食店券売機や駐車場精算機向けの紙幣還流ユニットの販売が増加したことなどから、セグメント売上高は3,805百万円（前連結会計年度比41.4%増）、セグメント利益は1,147百万円（前連結会計年度比119.1%増）となりました。

〈遊技場向機器〉

新紙幣への改刷対応に伴う紙幣識別機ユニットや紙幣搬送システム等の周辺機器の販売が増加したことに加えて、スマート遊技機専用ユニットの販売も底堅く推移したことなどから、セグメント売上高は6,824百万円（前連結会計年度比19.2%増）、セグメント利益は1,437百万円（前連結会計年度比43.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,686百万円増加し、49,385百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,322百万円増加し、41,465百万円となりました。「現金及び預金」が4,934百万円増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が1,161百万円、棚卸資産が2,502百万円それぞれ減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて385百万円増加し、7,816百万円となりました。「有形固定資産」が生産用金型等の取得により130百万円、繰延税金資産の計上等により「投資その他の資産」が279百万円それぞれ増加いたしました。

繰延資産合計は、社債発行費の償却により、前連結会計年度末に比べて20百万円減少し、102百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,192百万円減少し、8,068百万円となりました。「1年内返済予定の長期借入金」が240百万円、契約負債の増加などにより「その他」が752百万円それぞれ増加した一方、「支払手形及び買掛金」が2,381百万円減少いたしました。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて496百万円減少し、9,285百万円となりました。借入金返済により「長期借入金」が420百万円減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,375百万円増加し、32,031百万円となりました。自己株式の買付により「自己株式」が1,559百万円増加し、また、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより「利益剰余金」が2,898百万円、在外子会社の時価評価による「為替換算調整勘定」が2,057百万円それぞれ増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、4,934百万円増加し、17,457百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は7,637百万円（前連結会計年度は4,925百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益4,798百万円、売上債権の減少1,590百万円、棚卸資産の減少3,776百万円などにより資金が増加した一方、仕入債務の減少2,823百万円、法人税等の支払1,073百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は390百万円（前連結会計年度は402百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却118百万円などにより資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出432百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は2,789百万円（前連結会計年度は4,116百万円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,200百万円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出1,380百万円、自己株式の取得による支出1,576百万円、配当金の支払908百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額477百万円の資金の増加がありました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率（％）	69.6	69.6	70.0	60.1	64.9
時価ベースの 自己資本比率（％）	57.0	60.4	90.7	77.4	55.0
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(年)	—	3.8	—	—	1.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	—	47.2	—	—	79.4

※自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期（2026年3月期）における当社グループを取り巻く事業環境については、地政学リスクや物価上昇等の継続に伴う欧州を中心とした海外景気の減速に加え、米国の通商政策等による影響が景気の下振れリスクとして想定されることから、先行きは依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

当社グループの市場環境については、海外では特に欧州における景気の減速感の広がりが懸念されるとともに、国内の各市場においては当期業績に大きく寄与した新紙幣の改刷需要の一巡に伴い、貨幣処理機器への設備投資意欲は抑制傾向となることが予想されます。

このような状況の中、ゲーミング市場では、北米において本格稼働したカジノホテルのバックオフィスでの現金処理プロセスの自動化及び省力化に資する新製品と既存主力製品とのシナジーを最大限発揮した提案活動等により、市場シェアの維持・拡大に取り組んでまいります。

また、海外コマーシャル市場では、北中南米地域の市場開拓に向けた新製品開発や販路拡大等を加速させるとともに、アジア地域の未開拓国への積極的な営業活動に努めることで、コマーシャル事業の更なる拡大を目指します。なお、今後の当社業績の牽引役とすべく積極的な人的、物的両面での先行投資を進めている北米中南米コマーシャル市場の事業としての収益面の立ち上がりは、当初想定していた時期よりもやや遅れる見込みであります。

加えて、当社グループの中長期的な課題である新たな柱となり得る新事業領域の獲得に向けた研究開発活動や、当社のコアテクノロジーを応用した技術や製品の他市場展開等においても、引き続き積極的に推進することで将来の事業化に向けた基盤構築についても着実に進めてまいります。

以上を踏まえ、次期の連結業績予想につきましては、特別利益に固定資産売却益を計上する予定であることも含め、以下のとおり見込んでおります。

なお、次期の為替レートは、米ドル140円、ユーロ155円を想定しております。

次期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
次期予想	31,000	1,400	1,000	3,200
当期実績	37,815	4,910	4,676	3,810
増減額	△6,815	△3,510	△3,676	△610
増減率 (%)	△18.0	△71.5	△78.6	△16.0

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループでは、利益配分に関する基本方針として、成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増加と、株主の皆様への利益還元である配当の安定的な実施を勘案し、連結配当性向30%以上を基本に、純資産配当率にも配慮して決定することとしております。

当期の利益還元につきましては、上記方針に基づく利益配当に加え、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、総額1,576百万円の自己株式の取得を行いました。

以上により、当期の期末配当金につきましては、従前の予想どおり1株につき普通配当26円、当社創業70周年の記念配当1株につき10円、合計1株につき36円といたしました。これにより、中間配当金（1株につき普通配当14円）を合わせた当期の1株当たりの年間配当金は、普通配当40円、記念配当10円の合計50円（連結配当性向35.3%）となります。

なお、次期の年間配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき1株につき年間40円（連結配当性向33.7%）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,522,582	17,457,475
受取手形、売掛金及び契約資産	6,575,455	5,413,792
電子記録債権	481,028	654,606
有価証券	58,404	39,935
商品及び製品	12,209,054	10,636,484
仕掛品	1,195,138	727,067
原材料及び貯蔵品	6,159,975	5,698,136
その他の流動資産	1,135,852	971,700
貸倒引当金	△193,922	△133,364
流動資産合計	40,143,568	41,465,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,307,940	1,270,868
機械装置及び運搬具（純額）	112,247	125,829
土地	1,524,397	1,539,964
リース資産（純額）	6,872	9,946
その他（純額）	998,917	1,134,042
有形固定資産合計	3,950,375	4,080,651
無形固定資産		
ソフトウェア	48,075	54,769
ソフトウェア仮勘定	3,266	907
その他の無形固定資産	168,429	139,940
無形固定資産合計	219,772	195,617
投資その他の資産		
投資有価証券	1,010,160	950,992
退職給付に係る資産	745,251	740,341
繰延税金資産	1,078,961	1,354,662
その他の投資等	499,629	567,222
貸倒引当金	△72,611	△72,635
投資その他の資産合計	3,261,392	3,540,584
固定資産合計	7,431,539	7,816,854
繰延資産		
社債発行費	123,098	102,342
繰延資産合計	123,098	102,342
資産合計	47,698,207	49,385,032

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,583,516	2,201,881
1年内返済予定の長期借入金	1,260,000	1,500,000
リース債務	105,242	121,900
未払法人税等	392,121	485,210
賞与引当金	366,624	443,928
役員賞与引当金	36,000	46,000
その他の流動負債	2,517,213	3,269,499
流動負債合計	9,260,718	8,068,419
固定負債		
社債	6,000,000	6,000,000
長期借入金	3,540,000	3,120,000
リース債務	189,215	118,365
その他の固定負債	52,802	47,221
固定負債合計	9,782,017	9,285,587
負債合計	19,042,736	17,354,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220,316	2,220,316
資本剰余金	2,764,839	2,760,065
利益剰余金	24,570,828	27,469,657
自己株式	△2,353,842	△3,913,131
株主資本合計	27,202,141	28,536,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287,152	270,332
為替換算調整勘定	1,166,175	3,223,784
その他の包括利益累計額合計	1,453,328	3,494,117
純資産合計	28,655,470	32,031,025
負債純資産合計	47,698,207	49,385,032

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	※1 31,610,569	※1 37,815,935
売上原価	※2, ※4 19,422,282	※2, ※4 22,474,788
売上総利益	12,188,287	15,341,146
販売費及び一般管理費	※3, ※4 9,349,092	※3, ※4 10,430,552
営業利益	2,839,195	4,910,593
営業外収益		
受取利息	19,254	64,033
受取配当金	40,056	40,596
為替差益	810,146	—
補助金収入	—	21,317
その他	183,658	26,871
営業外収益合計	1,053,115	152,817
営業外費用		
支払利息	30,240	101,219
社債発行費償却	8,160	20,755
為替差損	—	125,506
貸倒損失	—	58,953
持分法による投資損失	275,708	10,471
その他	10,165	69,902
営業外費用合計	324,275	386,811
経常利益	3,568,035	4,676,600
特別利益		
固定資産売却益	※5 2,984	※5 90,542
投資有価証券売却益	65,563	16,917
関係会社株式売却益	—	18,991
特別利益合計	68,548	126,452
特別損失		
固定資産除却損	※6 2,133	※6 1,243
関係会社株式清算損	—	2,858
特別損失合計	2,133	4,101
税金等調整前当期純利益	3,634,449	4,798,951
法人税、住民税及び事業税	819,494	1,153,776
法人税等調整額	△466,973	△165,291
法人税等合計	352,521	988,485
当期純利益	3,281,928	3,810,465
親会社株主に帰属する当期純利益	3,281,928	3,810,465

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	3,281,928	3,810,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,879	△16,820
為替換算調整勘定	482,445	2,076,759
持分法適用会社に対する持分相当額	19,151	△19,151
その他の包括利益合計	573,475	2,040,788
包括利益	3,855,404	5,851,254
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,855,404	5,851,254
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2, 220, 316	2, 765, 896	21, 699, 807	△402, 481	26, 283, 539
当期変動額					
剰余金の配当			△410, 907		△410, 907
親会社株主に帰属する当期純利益			3, 281, 928		3, 281, 928
自己株式の取得				△1, 966, 950	△1, 966, 950
自己株式の処分		△1, 057		15, 589	14, 532
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計		△1, 057	2, 871, 020	△1, 951, 361	918, 602
当期末残高	2, 220, 316	2, 764, 839	24, 570, 828	△2, 353, 842	27, 202, 141

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	215, 273	664, 579	879, 853	27, 163, 392
当期変動額				
剰余金の配当				△410, 907
親会社株主に帰属する当期純利益				3, 281, 928
自己株式の取得				△1, 966, 950
自己株式の処分				14, 532
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	71, 879	501, 596	573, 475	573, 475
当期変動額合計	71, 879	501, 596	573, 475	1, 492, 077
当期末残高	287, 152	1, 166, 175	1, 453, 328	28, 655, 470

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2, 220, 316	2, 764, 839	24, 570, 828	△2, 353, 842	27, 202, 141
当期変動額					
剰余金の配当			△911, 637		△911, 637
親会社株主に帰属する当期純利益			3, 810, 465		3, 810, 465
自己株式の取得				△1, 576, 560	△1, 576, 560
自己株式の処分		△4, 773		17, 272	12, 499
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	△4, 773	2, 898, 828	△1, 559, 288	1, 334, 767
当期末残高	2, 220, 316	2, 760, 065	27, 469, 657	△3, 913, 131	28, 536, 908

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	287, 152	1, 166, 175	1, 453, 328	28, 655, 470
当期変動額				
剰余金の配当				△911, 637
親会社株主に帰属する当期純利益				3, 810, 465
自己株式の取得				△1, 576, 560
自己株式の処分				12, 499
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△16, 820	2, 057, 608	2, 040, 788	2, 040, 788
当期変動額合計	△16, 820	2, 057, 608	2, 040, 788	3, 375, 555
当期末残高	270, 332	3, 223, 784	3, 494, 117	32, 031, 025

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,634,449	4,798,951
減価償却費	388,167	523,276
引当金の増減額 (△は減少)	△195,728	27,049
受取利息及び受取配当金	△59,310	△104,629
支払利息	30,240	101,219
社債発行費償却	8,160	20,755
為替差損益 (△は益)	△897,152	200,160
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△850	△89,299
投資有価証券売却損益 (△は益)	△65,563	△16,917
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△18,991
関係会社清算損益 (△は益)	—	2,858
持分法による投資損益 (△は益)	275,708	10,471
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,641,072	1,590,741
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,416,281	3,776,829
仕入債務の増減額 (△は減少)	665,199	△2,823,556
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△336,800	431,658
その他の資産・負債の増減額	1,259,166	272,481
小計	△4,351,668	8,703,059
利息及び配当金の受取額	58,621	103,943
利息の支払額	△44,625	△96,149
法人税等の支払額	△587,543	△1,073,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,925,216	7,637,167
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△73,105	—
定期預金の払戻による収入	95,370	—
有形固定資産の取得による支出	△885,967	△432,766
有形固定資産の売却による収入	5,505	118,391
無形固定資産の取得による支出	△36,599	△26,127
有価証券の純増減額 (△は増加)	482,479	24,262
投資有価証券の取得による支出	△2,359	△2,235
関係会社株式の売却による収入	—	21,638
投資有価証券の売却による収入	100,886	29,404
差入保証金の差入による支出	—	△122,960
長期貸付けによる支出	△54,062	—
その他	△34,831	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△402,683	△390,294
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,300,000	1,200,000
長期借入れの返済による支出	△600,000	△1,380,000
社債の発行による収入	3,903,817	—
配当金の支払額	△409,666	△908,858
リース債務の返済による支出	△110,357	△123,611
自己株式の取得による支出	△1,966,950	△1,576,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,116,842	△2,789,031
現金及び現金同等物に係る換算差額	529,192	477,051
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△681,864	4,934,893
現金及び現金同等物の期首残高	13,204,447	12,522,582
現金及び現金同等物の期末残高	12,522,582	17,457,475

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。これによる前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(連結損益計算書に関する注記)

※1 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。

※2 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
	354,165千円	669,963千円

※3 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
給与・賞与	3,333,818千円	3,971,045千円
貸倒引当金繰入額	△4,902	△8,479
賞与引当金繰入額	190,325	233,715
役員賞与引当金繰入額	36,000	46,000
退職給付費用	△44,729	79,368
支払手数料	871,326	927,864

※4 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
	1,526,012千円	1,718,427千円

※5 固定資産売却益の主な内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
建物及び構築物	149千円	89,935千円
機械装置及び運搬具	2,834	607

※6 固定資産除却損の主な内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
建物及び構築物	828千円	0千円
ソフトウェア	—	0
その他	1,305	1,243

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、製品・サービスについて、事業毎に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業単位を基礎としたセグメントから構成されており、「グローバルゲーミング」、「海外コマーシャル」、「国内コマーシャル」及び「遊技場向機器」の4つを報告セグメントとしております。

「グローバルゲーミング」は、カジノホール及びOEM顧客向けの紙幣識別機・還流ユニット並びにゲーミング用プリンター製品等の販売を行っております。「海外コマーシャル」は、海外の金融・流通・交通市場向けの紙幣識別機・還流ユニット等の販売を行っております。「国内コマーシャル」は、国内の金融・流通・交通市場向けの紙幣・硬貨還流ユニット等の販売を行っております。「遊技場向機器」は、パチンコホール向けのメダル自動補給システム・紙幣搬送システムをはじめとする周辺設備機器等の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外 コマーシャル	国内 コマーシャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	17,279,315	5,915,955	2,692,078	5,723,219	31,610,569	—	31,610,569
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,279,315	5,915,955	2,692,078	5,723,219	31,610,569	—	31,610,569
セグメント利益 又は損失 (△)	2,794,890	△175,881	523,716	1,001,985	4,144,710	△1,305,515	2,839,195
セグメント資産	19,290,610	8,862,548	3,031,959	3,586,493	34,771,611	12,926,595	47,698,207
その他の項目							
減価償却費	225,610	48,251	9,550	33,155	316,568	71,598	388,167
持分法適用会社へ の投資額	12,523	17,099	—	—	29,622	—	29,622
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	567,532	100,941	33,990	125,938	828,403	206,812	1,035,215

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,305,515千円は、各セグメントに配分していない全社費用です。
(2) セグメント資産の調整額12,926,595千円は各セグメントに配分していない全社資産です。
(3) 減価償却費の調整額71,598千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。
(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額206,812千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る設備投資額であります。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外 コマーシャル	国内 コマーシャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	21,477,477	5,707,853	3,805,899	6,824,704	37,815,935	—	37,815,935
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,477,477	5,707,853	3,805,899	6,824,704	37,815,935	—	37,815,935
セグメント利益 又は損失 (△)	4,368,202	△566,696	1,147,412	1,437,004	6,385,922	△1,475,328	4,910,593
セグメント資産	21,507,587	7,293,240	2,317,597	3,421,267	34,539,693	14,845,338	49,385,032
その他の項目							
減価償却費	284,863	57,418	52,367	38,861	433,510	89,766	523,276
持分法適用会社へ の投資額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	296,154	57,410	69,400	36,151	459,117	112,291	571,408

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,475,328千円は、各セグメントに配分していない全社費用です。
- (2) セグメント資産の調整額14,845,338千円は各セグメントに配分していない全社資産です。
- (3) 減価償却費の調整額89,766千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額112,291千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
8,420,780	12,222,030	8,567,162	2,400,596	31,610,569

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 北米のうち米国は11,952,137千円、欧州のうちドイツは3,655,584千円であります。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
2,830,397	437,968	59,164	622,845	3,950,375

(注) 北米のうち米国は437,968千円、その他の地域のうちフィリピンは439,373千円であります。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Aristocrat Technologies Inc.	3,460,657	グローバルゲーミング

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
10,634,481	14,736,744	10,085,277	2,359,432	37,815,935

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 北米のうち米国は14,603,296千円、欧州のうちドイツは5,055,523千円であります。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
2,767,835	488,513	51,893	772,409	4,080,651

(注) 北米のうち米国は488,513千円、その他の地域のうちフィリピンは534,146千円であります。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高のうち連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,018円44銭	1,189円39銭
1株当たり当期純利益	112円59銭	140円98銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,281,928	3,810,465
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,281,928	3,810,465
普通株式の期中平均株式数 (株)	29,149,252	27,028,818

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。